

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0502011

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 生活支援の充実	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	在宅福祉推進事業補助金	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担 当 課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町社会福祉協議会	関 係 課	#N/A	
事業指標	在宅福祉事業の実施		#N/A	
事業目標	円滑な実施	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 ボランティアの参加、協力	関係例規・法令名		
		関係個別計画名	1 高齢者保健福祉計画	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 20 年度 事 業 内 容	平成 21 年度 事 業 内 容	平成 22 年度 事 業 内 容	平成 23 年度 事 業 内 容	平成 24 年度 事 業 内 容	
計 画 内 容	○在宅福祉推進事業補助金 社会福祉協議会が行う在宅福祉推進事業 に対し補助金の交付を行い、地域及び自治 会における福祉活動の推進とボランティア 団体の育成、活性化を図る。  ①独居老人交流事業 ②独居老人世帯訪問事業 ③高齢者ふれあい交流会	在宅福祉推進事業補助金	在宅福祉推進事業補助金	在宅福祉推進事業補助金	在宅福祉推進事業補助金	在宅福祉推進事業補助金	
	事業費(千円)	1,205	250	250	235	235	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,205	250	250	235	235		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,190	250	235	235	235	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,190	250	235	235	235		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等) 社会福祉協議会が行う在宅福祉推進事業に対する補助金 ・独居老人交流事業 ・独居老人世帯訪問事業 ・高齢者ふれあい交流会  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 社会福祉協議会が行う在宅福祉推進事業に対する補助金 ・独居老人交流事業 ・独居老人世帯訪問事業 ・高齢者ふれあい交流会  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 社会福祉協議会が行う在宅福祉推進事業に対する補助金 ・独居老人交流事業 ・高齢者ふれあい交流会  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 社会福祉協議会が行う在宅福祉推進事業に対する補助金 ・独居老人交流事業 ・高齢者ふれあい交流会  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 社会福祉協議会が行う在宅福祉推進事業に対する補助金 ・独居老人交流事業 ・高齢者ふれあい交流会  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	【評価・実績】						
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	円滑な実施	円滑な実施	円滑な実施	円滑な実施	円滑な実施
		年度達成率	100%	94%	100%	100%	100%
		全体達成率	21%	40%	60%	79%	99%

事業名	在宅福祉推進事業補助金	評価者	管理職	職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者	作成者	職氏名	社会福祉係長	磯田昭次

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	在宅高齢者等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	円滑な事業の実施								
【抱える課題やニーズは】	人口の高齢化が進み、高齢者等が健康で安心して暮らせる長寿社会づくりが望まれている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	高齢者自身が地域社会の中で、自らの経験や知識を生かして積極的に役割を果たしている社会づくりを目指す。	① 事業実施回数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	2回	実績値	2回	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	2回										
実績値	2回										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	高齢者世帯への訪問やふれあい活動を通じて、相互交流や共助活動に貢献できる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	雄武町社会福祉協議会が実施する、ひとり暮らしの高齢者等を対象とした交流事業やふれあい事業に係る必要経費の補助金を交付した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	明るく活力ある高齢社会を確立するためには、高齢者等に対する在宅福祉事業の充実を図るため、支援の必要性が高い。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への訪問やふれあい活動を通じて、相互交流や共助活動に貢献している。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	ボランティアの協力を得るなどして事業費の軽減に努めている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	社会福祉協議会が事業を実施しており、地域全体の高齢者を対象としていることから、公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

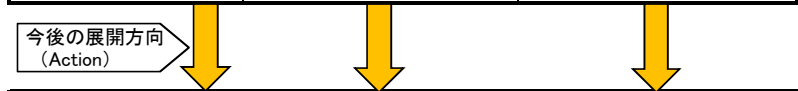
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
在宅高齢者の社会参加や地域での見守り体制の強化など高齢者福祉の増進を図るため、計画どおり事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持
在宅高齢者に対する支援は継続して行う必要があることから、現状維持が適当である。

※展開方向の区分